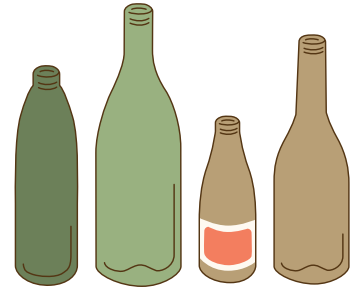


リターナルびんで、おいしく、エコに貢献！

日本ガラスびん協会のウェブサイトによると、ビールびんの一生は約8年。20回以上も使用され、最後は粉砕し、新しいびんに生まれ変わるとのこと。その他にも、牛乳びんや日本酒のびんなど、我々の生活では、何回も使用できる「リターナルびん」が活躍しています。

すべての飲料容器が「リターナルびん」に変われば、固形の廃棄物は89.1%削減。二酸化炭素の発生量は57.1%削減できるということです。

ちなみに環境先進国デンマークでは、飲料容器の97%が繰り返し使える容器とのこと。我々日本人も見習いたいですね！



「Eco列車でいこう！」～第104回～ 「雪まつり」は楽し！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！) 

2月18日、8:40の長岡駅。上越線内の除雪作業のため、列車が遅延している。車掌に聞くと、1時間以上は遅れる見込みだと言う。「越後川口」で乗り換えて、「十日町雪まつり」に行く予定だったが、さてどうするか？

長岡駅で情報収集をして、十日町行きの越後交通バスに乗ることにした。ローカルムード満点の路線バスの旅も楽しい。10:50頃、吹雪の十日町市内で下車した。

「十日町雪まつり」は、芸能人が多数出演する「雪上カーニバル」が有名だが、市内27か所に「おまつりひろば」があり、各集落が思考を凝らしたイベントを開催している。

バス停から10分程の「大井田の郷ひろば」に行ってみると、ちょうど「餅まき」が行われるところだった。地域の長老が餅をまくと、100人くらいで争奪戦開始。拾った餅には番号をふってあり、抽選会でヒーターなどが当たるとのこと。餅まきに参戦し、抽選会で「サラダ油」を獲得した。

道の駅で新鮮な「生なめこ」などを買ったあと、商店街まで歩き「小嶋屋」でビールとざるそばの昼食。そのあと、十日町高校グラウンドの「コミュニティひろば」へ。

ここは30か所以上の屋台が集まるメイン会場だ。ストーブのある屋台を見つけ、地酒「松乃井」の熱燗で暖をとった。連日の悪天候で、お客様の数は少ないようだが、地元の人たちと会話を交わして、楽しい時間を過ごした。

いい気分で十日町駅に戻る。飯山線のディーゼルカーでウトウトしている間に「越後川口」に到着。長岡行に乗り換えようとする、上越線はまだ不通とのこと。

途方に暮れていると、待合室にいたおじいさんが「小千谷までタクシーで相乗りをしないか？」と提案してくれたので、タクシーで小千谷へ。バスに乗り換えて長岡。信越線で新潟に戻った。

【2月18日(日)】

新	潟	7:06
長	岡	8:23
		9:30
		(越後交通バス)
十	日	10:50
		(雪まつり見学)
十	日	15:21
越	後	15:49
	川	16:00
	口	(タクシー)
小	千	16:15
	谷	16:54
		(越後交通バス)
長	岡	17:36
		17:39
新	潟	18:56

